

第 1 回 日本電線工業会 委員会活動貢献賞

委員会活動貢献賞は、日本電線工業会の委員会活動の活性化と参加委員のモチベーション向上を図ることを目的に 2024 年度に創設されました。

日本電線工業会の委員会活動を通じ、電線業界へ貢献を残した委員会を表彰します。

記念すべき第1回委員会活動貢献賞は、2025 年 3 月 21 日開催の第 649 回理事会において、次の 2 委員会が選定されました。

表彰テーマ

(敬称略)

「JCS 3502 『600V 可とうより導体耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線』 制定」

受賞者 産業用電線・ケーブル専門委員会 第二産業用電線・ケーブル小委員会

荒木 章吾 (主査)	株式会社フジクラ・ダイヤケーブル
佐藤 卓也 (副主査)	矢崎エナジーシステム株式会社
小嶋 一輝	SFCC株式会社
小林 豊	住友電工産業電線株式会社
市原 謙	タツタ電線株式会社
渡邊 勉	津田電線株式会社
里見 熙甫	一般社団法人電線総合技術センター
細谷 雅男	株式会社福電
茂木 優太	古河電工メタルケーブル株式会社
田中 祐太郎	株式会社プロテリアル

表彰テーマ

「JCS 5508 『細径 LAN 用ツイストペアケーブル』 制定」

受賞者 通信ケーブル専門委員会 細径 LAN ケーブル JCS 化 WG

小川 宏 (主査)	富士電線株式会社
吉澤 武志	通信興業株式会社
原 隆幸	沖電線株式会社
伴野 善政	岡野電線株式会社
田中 祐太郎	株式会社プロテリアル

表彰テーマの内容

①「JCS 3502『600V 可とうより導体耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線』制定」

産業用電線・ケーブル専門委員会 第二産業用電線・ケーブル小委員会



600V 可とうより導体耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線（写真提供：古河電工メタルケーブル株式会社）

活動の背景

国土交通省の要請に応じ、既に各社各様の仕様で上市されている製品について、各社仕様の最大公約数（共通項）を纏め上げて規格化した。

「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和 7 年版」の改正スケジュールに間に合わせるため、規格制定作業期間としては短期間での作業を強いられたにも関わらず、まとめあげることができた。

活動によりもたらされた結果

当該製品が公共建築工事に使用できる製品として同仕様書上にリストアップされることとなった結果、2025 年度以降の公共案件における当該製品採用の道筋を付けることとなった。

受賞者代表一言

第二産業用電線・ケーブル小委員会は、産業用電線・ケーブル専門委員会の下部組織として、日本電線工業会規格（JCS）や技術資料などの制定・改正作業を担当しています。この度、国土交通省から既存の JCS 3417「600V 耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線」に可とう性を付与した絶縁電線の規格化の要請を受けました。既に各社各様の仕様で上市されている製品でもあったため、標準化と各社仕様の整合化の観点でのバランス取りに苦心しながら規格化作業を行いました。また、短期間で規格を制定し、「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和 7 年版」の改正スケジュールに間に合わせることで、当該製品が公共建築工事に使用できる製品として同仕様書上にリストアップされることとなりました。その結果、これまで公共案件に採用されていなかった当該製品の 2025 年度以降の公共案件における採用に道筋を付けることができました。

今回、このような委員会活動に対して、日本電線工業会 委員会活動貢献賞を受賞できたことは誠に光栄であり、委員各位の励みとなるものと存じます。今後も会員各社ならびにステークホルダーのご要望に迅速に応えるべく、委員会活動をより活性化させていく所存です。

②「JCS 5508『細径 LAN 用ツイストペアケーブル』制定」

通信ケーブル専門委員会 細径 LAN ケーブル JCS 化 WG



細径 LAN 用ツイストケーブル



施工比較

活動の背景

LAN ケーブルについては、既に TIA や ISO にて規格化されている。細径タイプ(導体:26AWG、28AWG)については正式な規格が無い状況だった。しかし、細径 LAN ケーブルは日本が最も使用されているので、いち早く、国内での規格化をする目的で JCS 規格化に取り組んだ。

活動により期待される効果

規格がない分、既に市場で自社規格が流通している。規格化することで、LAN 市場での標準(統一)化が期待でき、国内の LAN ケーブル製造会社にとって製品仕様の指針になる。

28AWG(単線)での規格化は、本件が世界で初めての事例である。

受賞者代表一言

LAN ケーブルは、オフィスビルやデータセンター(DC)等に使用されており、市場の高速化要求により需要が伸びています。その中で、細径タイプとして JCS 5508 の規格を制定できたことに、感謝いたします。

今回の規格制定は、米国規格協会および米国通信工業会(ANSI/TIA)や国際標準化機構(ISO)を基に作成しましたが、28AWG(単線)での規格化は、世界初の事例となっています。この規格制定に携われたことは、非常に有意義な活動でした。今後も日本国内のさらなる発展に寄与できるよう尽力してまいります。

最後になりますが、本規格制定にご協力いただきましたワーキンググループの皆様および一般社団法人日本電線工業会 関係者の皆様に、感謝の意を表します。